

基本情報

科目分類	総合教養科目	開講年次	1・2・3・4年
時間割コード	2G103	開講区分	第2クォーター
開講科目名	ESD基礎（持続可能な社会づくり1） A	曜日・時限	水5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	U1BB100

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目) (社会教育主事資格科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。 ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>ESD基礎では、あらゆる人との関係づくりや学び合い（協働・共同・協同）を体験するとともに、頭と体と心をゆるめほぐすなかで、固定観念や思い込みを一旦学びすて、また構築することを繰り返し、「ゆらぎ」も体験してもらいます。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>ESDが射程にいられている社会的課題を認識しつつ、出会いとアンラーン（学びほぐし）を通して、自身の認識装置を見直します。</p> <p>この授業は遠隔授業（リアルタイム・オンデマンド）と対面授業を組み合わせさせていただきます。 ※社会情勢をみながら、遠隔授業のみに変更する可能性もあります。</p> <p>【授業の進め方（予定）】 遠隔授業（A）、対面授業（B）、フィールドワーク（F）</p> <p>A：1回 6/16 ガイダンス「SDとは」 A：2回 6/23 キャンパスSDGsワークショップ F：3回 6/30 学内フィールドワーク A：4回 7/ 7 神戸大学のSD問題を考える B：5回 7/14 神戸大学のSD問題の共有 B：6回 7/21 神戸大学大改造計画づくりワークショップ（1）</p>

B : 7/8回 7/28 (17:00~19:00) 神戸大学大改造計画づくりワークショップ (2)

※ESD交流会は、17:00~19:00の2時間で行います。

■成績評価方法

出席(50%)、授業への関与度(20%)、レポート(30%)とし、総合的に判断する。

■成績評価基準

授業の到達目標を指標として、ESDを実践していく上でのかまえがどの程度意識されているかを観点に、90点以上をS(秀)、80点以上90点未満をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とする。

■履修上の注意(関連科目情報)

定員200名。希望人数が多い場合は抽選をするので、**必ず以下の説明会(どちらかの1回で可)に参加すること。これは自身で履修登録することはできない科目です。**

【オンライン説明会】

4月9日(金) 12:30~13:10

4月13日(月) 12:30~13:10

※いずれか1日だけの参加で構いません。

■事前・事後学修

各回異なるが、ESDについての情報を事前に調べておいたり、従業後の情報を再確認したりすること。本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

■学生へのメッセージ

ESDコース修了認定に関心のある人は、この授業、または、「ESDボランティア論」を履修すること。ESDプラクティショナーについては、人間発達環境学研究科のホームページにある「神戸大学ESDコース」も参照のこと。

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>

■教科書

特に定めませんが、ESDやSDGに関連する書籍が多く出版されていますので、ご自身で探してみてください。そこから主体的な学びが始まります。

■参考書・参考資料等

適宜、指示します。

■授業における使用言語

日本語

■キーワード

ESD フィールドワーク アクションリサーチ
ワークショップ

■参考URL

<http://esd-tourprogram.org/esd/events/>

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>

担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科